こんにちは、
日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会☎ 371-9164 自宅☎（F 兼）691-3323 （携帯） 090-7880-9442
日本共産党京都市会議員団 ☎２２２－３７２８ FAX ２１１－２１３０
市会議員団ホームページ http://cpgkyoto.jp/ E-mail info@cpgkyoto.jp ２０１８年12月９日号

国保の黒字分を保険料値下げに回せ

均等割は少子化対策に逆行、軽減を

11月29日の市議会補正予算委員会で、「国民健康保険の黒字分は被保険者に還元せよ、均等割等の廃止または減額を」などと追及しました。井上議員の質問●と市幹部の答弁○（要旨）を紹介します。

※ ※

●黒字分37億円は被保険者に還元、値下げに充てよ。

○従来の例を参考にして基金に積み立て。

●全然、参考にしていない。せめて半分は値下げに充てるのが従来の例だ。

○一般会計が財政危機で調整基金が少なくなっている。

●財政危機は市長の責任で、被保険者には何の責任も関係もない。全国知事会が国費1兆円投入で労働者健保並みに値下げをと主張、均等割・世帯割をなくせば丁度その水準になる。どうか。

○国には市からも要求している。

●具体性がない。特に均等割は、少子化対策に反する。他都市でも均等割軽減の動きが広がっている。

○国には要求している。

●応益割は低所得ほど負担割合が高く不平等だ。市独自で軽減を。

国保会計	国	府	市	保険料
国が負担割合を減らし 保険料にしわ寄せ そこで、多くの自治体で 一般会計から繰り入れ				繰り入れ ↑
一般会計				

国保の赤字・黒字の場合＝今までは

赤字黒字額を１／２づつ、
保険料の増減と一般会計繰り入れを増減して調整

ところが今回は、３７億円の黒字を、
国保基金と
一般会計の財政調整基金に
１／２づつ貯金

※ 国保料の内訳

①所得割…前年の所得から計算
②均等割…一人あたりの額
　その額×被保険者数＝世帯の均等割額
③世帯平等割…どの世帯でも定額

①は、能力に応じてという意味で応能割、
②/③は、利益に応じてという意味で応益割
と呼ばれています（何が利益か不明ですが）

空と空間はみんなのもの

働く場の拡大を口実に市長が規制緩和

市長が、高さ規制の緩和を打ち出しています。例えば、「20ｍ以上は建ててはいけない」ルールを「31ｍまでは構わない」などと規制を緩めることです。空が狭くなります。井上議員の質問を紹介します（12月3日、市議会まちづくり委員会）。

●市は「事業用地やオフィスビルなど働く場所が少なくなっているから若い人が市外へ転出、だから高いビルを」とのことだが、民泊やホテル誘致で地価高騰が転出の理由ではないか。

○転出自体は事実だ。

●子育て支援が京都では遅れていることも一因ではないか。

○子ども育み局とも連携していく。

●オフィスビル増築の前に住み続けられることがまちづくりの基本だ。活力とは会社の活力に過ぎない。むしろ規制緩和のまちこわしが流出の原因ではないか。原因と結果が逆。初めに緩和ありきではなく多面的な議論を。

○様々な角度からの議論というのはその通り。

中央市場＝鍋まつり視察 11/23

北陸新幹線計画の内容を明らかに

同委員会で北陸新幹線問題についても質問。南区内の地下40ｍを何の保障もなく掘り進める予定です。ルート選定の為の予備試掘中、左京区では水道管を破り断水濁水の初歩的ミス。試掘の場所選定の根拠や目的、結果を明らかにすることなどを求めました。試掘が終われば環境影響評価の手続きに入り、明らかにするとの答弁でした。

消防団フェスタ見学（11/25 梅小路）